

2013年4月15日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長 藤田正雄

TSR - Press Release

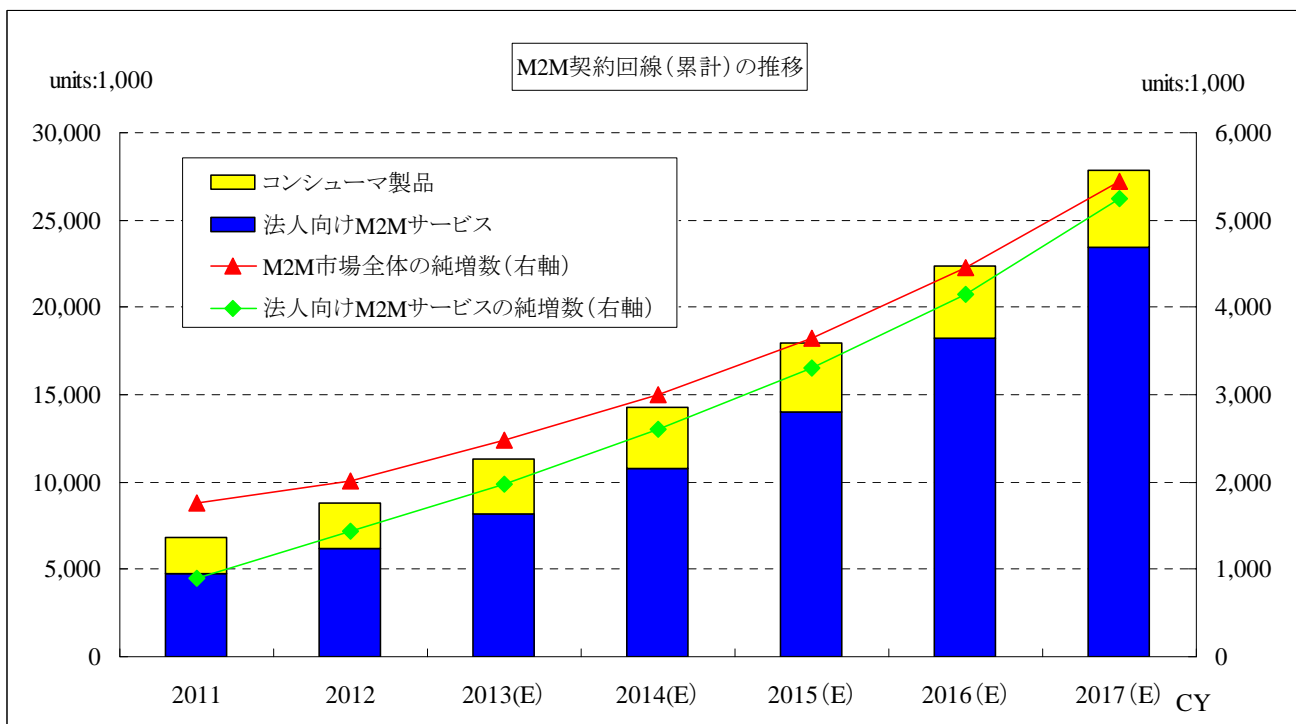
国内モバイル M2M 市場は 2017 年に 2,800 万回線規模に達する見通し

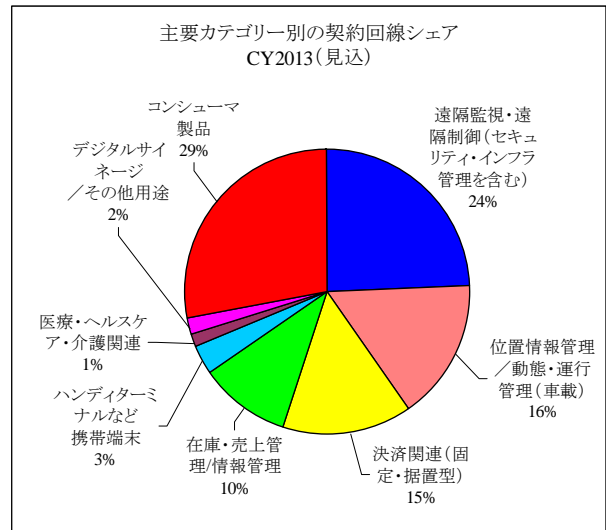
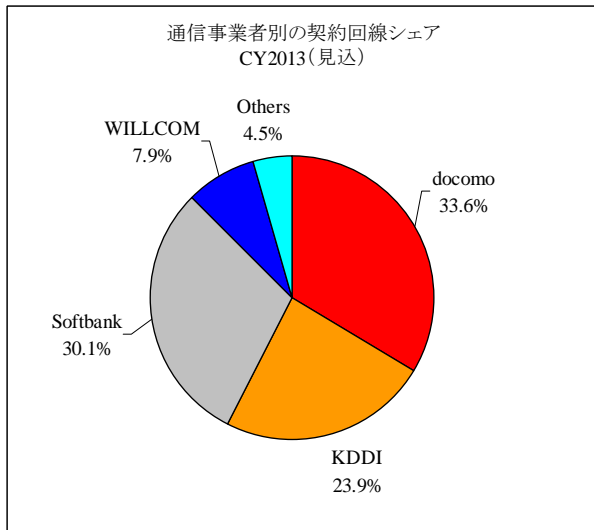
～ インフラ管理、セキュリティ、フィールド管理、車載、決済データ通信などの需要が堅調 ～

株式会社テクノ・システム・リサーチは、国内における携帯電話や PHS などのモバイル回線を利用した M2M (Machine to Machine) 市場 (あるいは IOT=Internet of Things 市場) に関する調査報告書『国内モバイル M2M 市場動向調査 (2012 年版)』の「第 1 部 市場動向編」を 3 月に発刊しました。

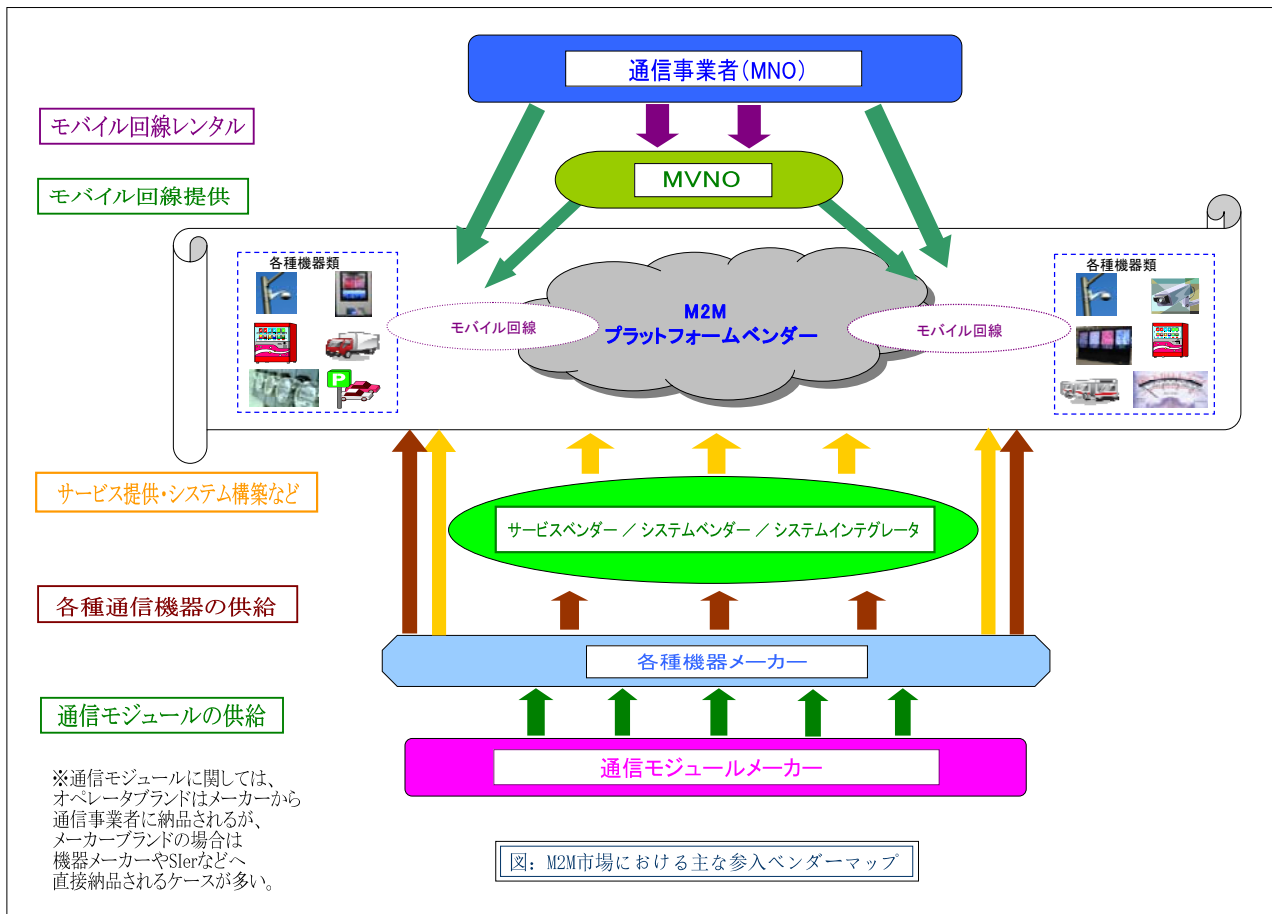
2012 年末時点で、M2M サービスで利用されているモバイル回線の契約数は、コンシューマ製品を含めて、およそ 880 万件であった。今後 2014 年中に 1,500 万件台に達し、2017 年中にモバイル回線全体の 10%以上を占め、契約数は 2,800 万件近くになる見通しである。

コンシューマ製品を除いた法人向け M2M 市場において、契約回線数が最も多いのが機器の遠隔監視やインフラ管理、セキュリティなどを含めた遠隔監視・遠隔制御の分野であり、法人市場全体の 3 分の 1 以上を占めている。遠隔監視用途は今後も堅調に需要を伸ばし、2017 年には 2011 年の 4 倍以上の契約回線規模になるものと予測される。次いで高いシェアを占めているのが、車両の位置情報や動態・運行管理といった車載用途や、電子マネーやクレジットカードなどの決済データ通信分野であり、いずれも市場の 2 割前後を占めている。とりわけ、車載用途は次世代自動車の普及と共に採用の伸びが期待され、2017 年には 2011 年時点の約 7 倍になるものと見込まれる。また、決済用途は有線ネットワークの利用も進むことから、車載ほどの伸びは期待できないが、それでも 2011 年比で 5 倍規模になるものと予測される。この他では、ハンディターミナルなどの携帯端末や医療・ヘルスケア・介護関連の成長が期待される。





2011年より、多くのベンダーがM2Mに注目し始め、モバイルM2M市場でも、クラウドサービスを提供するプラットフォームベンダーや、MVNOやサービスベンダーなどの本格参入が目立った。しかし、2012~2014年までは各社ともビジネスの方向性や実効性の模索時期にあたるため、市場の成長は昨年調査時よりも伸び悩むものと見込まれる。2015年以降は、車載やインフラ管理などの用途で成長が高まるものと期待される。



【資料紹介】

『国内モバイルM2M市場動向調査(2012年版)』「第1部市場動向編」はM2M市場について、契約回線数ベースで通信事業者や通信モジュールメーカーをはじめとした市場参入ベンダーの動向のほか、M2Mの利用カテゴリーを9つに分けて、各カテゴリーについての概況及び長期的な動向についてまとめております。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ 第3グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) TEL:03-3866-4505